

千葉市感染症発生動向調査情報

2016年 第19週 (5/9-5/15) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		19週	18週	17週	16週
上段:患者数 下段:定点当たりの患者数	小児科	18	18	18	18
	眼科	5	5	5	5
	インフルエンザ*	28	27	28	28
	基幹定点	1	1	1	1

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定 点	感 染 症 名	千		葉		市		千葉県
		注意報	5/9-5/15	5/2-5/8	4/25-5/1	4/18-4/24	5/2-5/8	
			19週	18週	17週	16週	18週	
小 児 科	RSウイルス感染症		0	1	0	2	4	
			0.00	0.06	0.00	0.11	0.03	
	咽頭結膜熱	○	8	5	8	8	51	
			0.44	0.28	0.44	0.44	0.38	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		52	36	38	58	295	
			2.89	2.00	2.11	3.22	2.20	
	感染性胃腸炎		127	104	98	108	517	
			7.06	5.78	5.44	6.00	3.86	
	水痘		18	5	8	4	35	
			1.00	0.28	0.44	0.22	0.26	
	手足口病		3	0	0	1	3	
		0.17	0.00	0.00	0.06	0.02		
伝染性紅斑		4	8	4	7	36		
		0.22	0.44	0.22	0.39	0.27		
突発性発しん		13	14	14	15	75		
		0.72	0.78	0.78	0.83	0.56		
百日咳		0	0	0	0	1		
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.01		
ヘルパンギーナ		0	0	1	1	5		
		0.00	0.00	0.06	0.06	0.04		
流行性耳下腺炎		8	6	8	14	110		
		0.44	0.33	0.44	0.78	0.82		
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフル エンザを除く)		6	13	39	95	124	
			0.21	0.48	1.39	3.39	0.58	
眼 科	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	1	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	
流行性角結膜炎	→	4	4	2	1	24		
			0.80	0.80	0.40	0.20	0.71	
基 幹 定 点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	0	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	0	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0		
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	0		
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(14件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	40歳代	病原体の検出等	クリプトスポリジウム症	女性	40歳代	病原体の検出
結核	男性	40歳代	IGRA検査	後天性免疫不全症候群	男性	20歳代	血清抗体の検出
結核	男性	40歳代	IGRA検査	侵襲性肺炎球菌感染症	男性	70歳代	病原体の検出
結核	男性	40歳代	病原体等の検出等	侵襲性肺炎球菌感染症	女性	10歳未満	病原体の検出
結核	女性	20歳代	IGRA検査	侵襲性肺炎球菌感染症	女性	40歳代	病原体の検出
結核	女性	50歳代	IGRA検査	侵襲性肺炎球菌感染症	女性	40歳代	病原体の検出
急性脳炎	女性	10歳未満	高熱及び中枢神経症状	梅毒	男性	20歳代	血清抗体の検出

・第19週は、結核6件(79)、急性脳炎1件(14)、クリプトスポリジウム症1件(1)、後天性免疫不全症候群1件(4)、侵襲性肺炎球菌感染症4件(15)、梅毒1件(10)の報告があった。

※ ()内は2016年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第19週のコメント

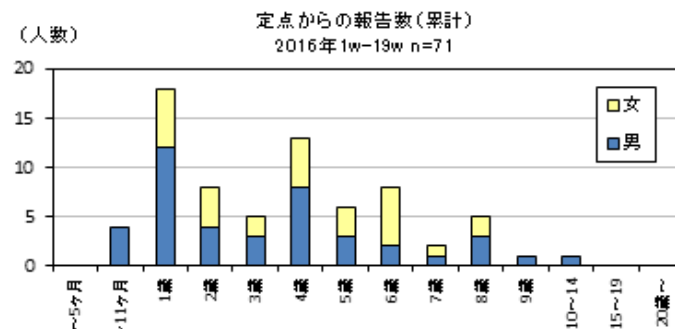
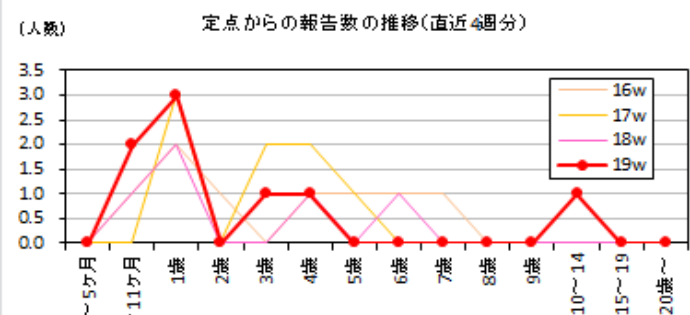
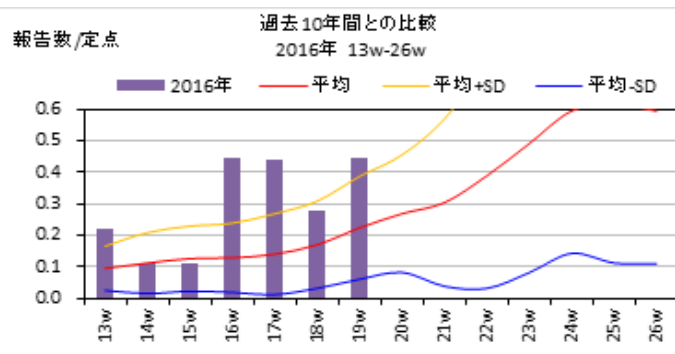
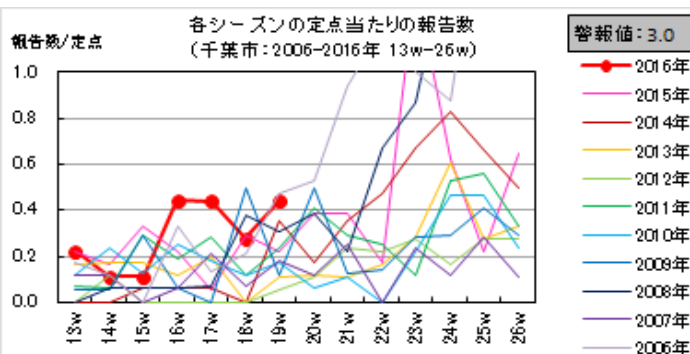
＜咽頭結膜熱＞前週から増加し0.44となった。過去10年の同時期と比べると多い。

＜流行性角結膜炎＞前週から横ばいで0.80だが、過去10年の同時期と比べると最多のまま。

■ トピック ■

<咽頭結膜熱>

全国レベルの第18週は過去9年の同時期と比べると多くなっています。都道府県別では、島根県、佐賀県、鹿児島県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルより若干少なめとなっています。千葉市の第19週は前週より増加し0.44となり、過去10年の同時期と比べると多くなっています。区別の発生状況は、花見川区(1.0/定点)で最多で、同区の6か月～11か月及び1歳で発生報告がありました。2015年第1週から第19週までの累積報告数(n=71)によると、性別では男性が59.2%(42名)、女性が40.8%(29名)で、年齢階級別では1歳(25.4%:18名)、4歳(18.3%:13名)、2歳及び6歳(共に11.3%:8名)の順に多くなっています。



<流行性角結膜炎>

全国レベルの第18週は過去9年の同時期と比べるとほぼ平均レベルとなっています。都道府県別では、宮崎県、長崎県、神奈川県順に多く報告されています。千葉県は全国レベルより若干多めとなっています。千葉市の第19週は前週から横ばいで0.80のままですが、過去10年の同時期と比べると最多のままととなっています。区別の発生状況は、若葉区(3.0/定点)で最多で、同区の1歳、2歳及び20歳代で発生報告がありました。2015年第1週から第19週までの累積報告数(n=58)によると、性別では男性が37.9%(22名)、女性が62.1%(36名)で、年齢階級別では30歳代(25.9%:15名)、50歳代(15.5%:9名)、60歳代(10.3%:6名)の順に多くなっています。

